

学 則

東京服飾専門学校

東京服飾専門学校 学則

第 1 章 総 則

(目的)

第 1 条 本校は服飾の学理と技術によって、職業若しくは实际生活に必要な能力を育成することを目的とする。

(名称)

第 2 条 本校は、東京服飾専門学校という。

(位置)

第 3 条 本校は、位置を東京都豊島区巣鴨 1 丁目 1 9 番地 7 号に置く。

第 2 章 課程及び学科、修業年限、定員並びに休業日

(課程、学科、修業年限、定員)

第 4 条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

服飾専門課程	学科名	修業年限 (年)	昼夜 通信	定 員 (名)	総定員 (名)
	アパレル造形科デザイナーコース	2	昼	2 0	4 0
	アパレル造形科パタンナーコース	2	昼	2 0	4 0
	スタイリスト科	2	昼	5 0	1 0 0
	モデル科	1	昼	1 0	1 0
	ファッションビジネス科	2	昼	5 0	1 0 0
	アパレル技能科衣装製作コース	2	昼	5 0	1 0 0
	専攻科	1	昼	3 0	3 0
	合 計			4 2 0	

(学年、学期の終始期)

第 5 条 本校の学年及び学期は次のとおりとする。

学 年	4 月 1 日から翌年 3 月 3 1 日まで
前期	4 月 7 日から 7 月 3 1 日まで
後期一	9 月 1 日から 1 1 月 3 0 日まで
後期二	1 2 月 1 日から 3 月 3 1 日まで

(休業日)

第 6 条 本校の休業日は、次のとおりとする。

1. 土曜日、日曜日
2. 国民の祝日に関する法律で規定する休日
3. 夏季休業 7月22日から8月31日まで
4. 冬季休業 12月26日から1月5日まで
5. 春季休業 3月3日から4月6日まで
6. 創立記念日 5月2日

第 3 章 教育課程、授業時数及び教職員組織

(教育課程、時間時数)

第 7 条 本校の教育課程及び時間時数は、別表1のとおりとする。

(授業の終始期)

第 8 条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

服飾専門課程は、午前10時から午後4時迄

(教職員組織)

第 9 条 本校に次の教職員を置く。

1. 理 事 長 1名
2. 校 長 1名
3. 教 員 20名以上
4. 講 師 若干名
5. 事務職員 若干名

理事長は校務をつかさどり所属教員を監督する。

第 4 章 入学、休学、退学、卒業及び賞罰

(入学資格)

第 10 条 本校の入学資格は次のとおりとする。

1. アパレル造形科デザイナーコース・アパレル造形科パタンナーコース・
スタイリスト科・モデル科・ファッションビジネス科
・アパレル技能科衣装製作コース

高等学校卒業以上の者又はこれと同程度以上の学力があると認められる 18 歳以上の者

2. 専攻科

本校 2 年制学科修了者又はこれと同程度以上の学力があると認められる者

(入学時期)

第 11 条 本校の入学時期は毎年 4 月とする。

(入学手続許可)

第 12 条 本校の入学手続は次のとおりとする。

1. 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して、指定期日までに出席しなければならない。
2. 前号の手続を終了した者に対し入学試験を行い、入学者を決定する。
3. 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から 3 週間以内に第 21 条の入学金を添え手続きをとらなければならない。

(休復学)

第 13 条 学生が疾病その他やむを得ない理由によって 30 日以上休学する場合は、診断書およびその事由を記し、理事長の許可を受けなければならない。休学を許可された者が復学しようとする場合は届けて復学することができる。

(自主退学)

第 14 条 退学しようとする者は、その理由を記し、理事長の許可を受けなければならない。

(転科)

第 15 条 アパレル造形科デザイナーコース、アパレル造形科パタンナーコース、スタイリスト科、モデル科、ファッションビジネス科およびアパレル技能科衣装製作コース、の 1 年次を修了した者は、2 年次に進級する際自己が在籍する学科以外の学科へ転科することができる。ただし、転科を希望する者について試験を行い、進級する学科の 1 年次修了者と同程度以上の学力があると認められる者に限るものとする。

(卒業・修了の認定)

第 16 条 校長は、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき学科目について試験を行ない、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。ただし、実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。

(卒業)

第 17 条 本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。

(称号の授与)

第 18 条 前条に規定するところにより、アパレル造形科デザイナーコース、アパレル造形科パターンナーコース、アパレル技能科衣装製作コース、スタイリスト科、ファッションビジネス科を修了した者は、専門士（服飾専門課程）と称することができる。

(褒章)

第 19 条 成績優秀にして、他の模範となる者は、褒章することがある。

(退学)

第 20 条 次の各号の 1 に該当する者には、退学を命ずることがある。

1. 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
2. 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
3. 正当な理由がなくて出席が常でない者
4. 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 5 章 入学金、授業料、その他

(納付金)

第 21 条 本校の入学金、授業料等は、次のとおりとする。

服飾専門課程	科別	費用	学 年	入学金	授業料 (年額)	維持費 (年額)	諸費 (年額)	材料費 (年額)	総額
服飾専門課程	アパレル造形科デザイナーコース		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
			2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	アパレル造形科パタンナーコース		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
			2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	スタイリスト科		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
			2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	モデル科		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
	ファッションビジネス科		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
			2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	アパレル技能科衣装製作コース		1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
			2	—	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	専攻科		3	—	290,000	110,000	50,000	130,000	580,000

(学費の納入)

第 22 条 一度納入した学費は、入学辞退者を除き、原則として返金しない。学費の納入は、全額を年 2 回にて分納する。

(健康診断)

第 23 条 健康診断は、毎年 1 回、別に定めるところにより実施する。

(細則の制定)

第 24 条 この学則の実施に必要な細則は、理事長が定める。

付 則

1. この学則は平成 6 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 7 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 12 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。
3. ただし、第 17 条については、平成 12 年 2 月 8 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 14 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 17 年 4 月 1 日より施行する。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 21 年 4 月 1 日より施行する。
平成 20 年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
2. この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付 則

1. この学則は平成 21 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は平成 31 年 4 月 1 日より施行する。
2. ただし、第 9 条 1 については令和元年 5 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は令和 3 年 4 月 1 日より施行する。
2. ただし、第 9 条 1 については令和 3 年 5 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は令和 4 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は令和 5 年 4 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は令和 5 年 9 月 1 日より施行する。

付 則

1. この学則は令和 6 年 4 月 1 日より施行する。

別表 1

【アパレル造形科デザイナーコース】														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法		場所		教員		実務経験のある教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	
○			デッサンスタイル画	デッサン、クロッキーからスタイル画表現力。コンセプトからデザイン構成力と表現基礎。	1・前期	30			○	○		○		○
○			ベーシックデザイン	アイデア、インスピレーションの膨らませかた。コンセプトやテーマの建て方とデザインとしての表現力と、合わせてプレゼンテーションについて学ぶ。	1・後期	47.5			○	○		○		○
○			SNSマーケティング	SNSで会社やフリーランスでの仕事で必要な活用方法を学ぶ。アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、各SNSの特徴を理解する。	1・後期Ⅱ	25		○		○		○	○	○
○			トレンド分析・商品知識	マーケット、ブランドの分析方法、商品企画能力を学ぶ	1・前後期Ⅰ	70				○	○		○	○
○			グラフィック実習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成 各ソフトウェアの連動操作取得	1・通年	77.5				○	○		○	○
○			ドレーピング	平面製図でおこしておいたものを、立体ボディーを使用し、実際の布（シーチング）をあてダーツをとる事によって、実際のフォルムに合わせていきパターンの仕組みを理解する	1・通年	100				○	○		○	○
○			色彩学	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	37.5		○			○		○	○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、取り扱いケア	1・後期	60		○			○		○	○
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ・立体化して着用する服となっていく工程の理解と縫製仕様の習得	1・通年	385				○	○		○	○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。 素材から形まで	1・前期	35		○			○		○	○
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、対応策についてガイダンス	1・後期	57.5		○		○	○		○	○
○			産学連携実習	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。	2・通年	95				○	○	△	○	○
○			アパレルデザイン実習	テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け 想像応用力（コンテスト）を養う。 コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。	2・通年	100				○	○		○	○
○			デザインワーク	クリエイション（ART）の追求をファッションとしての表現として探求することで（非プロダクトデザイン）、デザインの目的（プロダクトと1作品としての関係）を理解し、合わせてコンセプトやデザインのストーリー構築を理解する。	2・前後期Ⅰ	67.5				○	○		○	○
○			服飾造形実習	デザイン力強化を目的とした、作品製作、パターン演習	2期Ⅰ・前後	312.5				○	○		○	○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	37.5		○			○		○	○
○			卒業制作ファッションショー制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリ企画。 グループワーク。	2・前期	35				○	○		○	○
○			卒業制作実習	個別作品制作、卒業制作試作	2・後期Ⅱ	155				○	○		○	○
○			ビジネスPCワーク	社会で通用するPCスキルを身に着けることを目的として、Windowsパソコンの操作やOfficeソフトの使い方を習得する	2・後期	60			○		○		○	○
○			3Dモデリング	基礎編、手引きで作成したパターンをスキャナーでトレースしてから、完成パターンにして、2Dでパーツ化までしていく。 3Dでシルエットを確認しながら、デザインアレンジまで持っていく。	2・後期	62.5				○	○		○	○
合計			20科目			1,850単位時間(単位)								
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価がC(6)以上であること。								1学年の学期区分		3期				
								1学期の授業期間		平均13週				

【アパレル造形科パターンナーコース】																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			デッサンスタイル画	デッサン、クロッキーからスタイル画表現力 コンセプトからデザイン構成力と表現基礎	1・前期	30				○	○		○			○
○			ベーシックデザイン	アイデア、インスピレーションの膨らませかた コンセプトやテーマの建て方とデザインとしての表現力と、 合わせてプレゼンテーションについて学ぶ	1・後期	47.5				○	○		○			○
○			SNSマーケティング	SNSで会社やフリーランスでの仕事で必要な活用方法を学ぶ アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、 各SNSの特徴を理解する	1・後期Ⅱ	25		○			○			○	○	○
○			トレンド分析・商品知識	マーケット、ブランドの分析方法、商品企画能力を学ぶ	1・前後期	70				○	○			○		○
○			グラフィック実習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級 操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼン テーションツール作成 各ソフトウェアの連動 操作取得	1・通年	77.5				○	○			○		○
○			ドレーピング	平面製図でおこなっていたものを、立体ボディーを使用し、 実際の布（シーチング）をあてダーツをとる事によって、 実際のフォルムに合わせていきパターンの仕組みを理解する	1・通年	100				○	○			○		○
○			色彩学	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	37.5		○			○			○		○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、 製作、販売、衣生活に役立てる 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、取り扱いケア	1・後期	60		○			○			○		○
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ・立体化して 着用する服となっていく工程の理解と縫製仕様の習得	1・通年	385				○	○			○		○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る 素材から形まで	1・前期	35		○			○			○		○
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、対応策についてガイダンス	1・後期	57.5		○			○	○				○
○			産学連携実習	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して 実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる 知識や経験を得る	2・通年	95					○	○	△		○	○
○			アパレルCAD	CADキーボードのショートカットキーを覚えながら、 軽衣料の製図をし、完成パターンを作成していく CADの基本操作を習得する	2・通年	100					○	○			○	○
○			ドレーピングⅡ	ドレーピング基礎の復習 ブラウスやワンピースのドレーピング応用	2期・前後Ⅰ	67.5					○	○			○	○
○			服飾造形実習	デザイン力強化を目的とした、作品製作、パターン演習	2期・前後Ⅰ	312.5					○	○			○	○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	37.5		○				○			○	○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリー企画 グループワーク	2・前期	35					○	○			○	○
○			卒業制作実習	個別作品制作、卒業制作試作	2・後期Ⅱ	155					○	○			○	○
○			ビジネスPCワーク	社会で通用するPCスキルを身に付けることを目的として、 Windowsパソコンの操作やOfficeソフトの使い方を習得する	2・後期	60			○			○				○
○			3Dモデリング	基礎編、手引きで作成したパターンをスキャナーでトレースしてから、 完成パターンにして、2Dでパーツ化までしていく 3Dでシルエットを確認しながら、デザインアレンジまで持っていく	2・後期	62.5					○	○			○	○
合計				20科目		1850単位時間(単位)										
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価がC(6)以上であること									1 学年の学期区分				3 期			
									1 学期の授業期間				平均13週			

【スタイリスト科】														
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法		場所		教員		実 務 経 験 の あ る 授 業 教 員
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	
○			ヘアメイク	ヘアスタイリングの基礎・基本を学ぶ。	1・ 前期	37.5				○	○		○	
○			メイクアップ	フルメイクの為の基礎テクニックの習得。 ステージメイクにも応用出来るテクニックの習得。 将来の職種にリンクする、就職活動や社会人として通用する 自身の身嗜みとして役立てる。	1・ 後期Ⅰ	22.5		○			○		○	
○			英会話	日常英会話	1・ 後期Ⅱ	25		○			○		○	
○			グラフィック実習	Macパソコンを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と実践、 パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成	1・ 通年	77.5				○	○			○
○			スタイリスト実習Ⅰ	スタイリストアシスタントとしての基礎知識と基本技術	1・ 通年	95				○	○		○	○
○			スタイリング コーディネート実習	スタイリングをする上でのベースとなる基礎知識を様々な 角度から獲得。実践によってコンセプトに基づいたスタイ リングをする能力を高める。	1・ 通年	100				○	○		○	○
○			デザイン・スタイル画	クロッキー、スタイル画製作、テーマやコンセプト メイキング。	1・ 後期	57.5				○	○		○	○
○			カメラ撮影実習	現場での様々なシュチュエーションに対応出来る 基礎知識の習得	1・ 後期Ⅰ	32.5		○		○	○	△	○	○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、 製作、販売、衣生活に役立てる。	1・ 後期	60				○	○		○	○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材から形、 構造まで。	1・ 前期	35		○			○		○	○
○			色彩学	色彩検定対策	1・ 前期	37.5		○			○		○	○
○			ビジネスPCワーク	社会で通用するPCスキルを身に着けることを目的として、 Windowsパソコンの操作やOfficeソフトの使い方を習得する	1・ 前後期Ⅰ	67.5				○	○			○
○			SNSマーケティング	SNSで会社やフリーランスでの仕事に必要な活用方法を学ぶ。 アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、各 SNSの特徴を理解する。	1・ 前期	30		○			○		○	○
○			スタイリスト業界概論	ファッション業界について、ブランドや企業、関係職種などに ついて幅広く学びます。	1・ 後期Ⅱ	25			○		○			○
○			服飾技術実習	現場で必要な手縫い・縫製の知識を学び、技術を習得する。 作品製作	1・ 通年	95				○	○		○	
○			ファッションスタイル論	服が好きだという気持ちを核に知識の習得。 服（衣装）ケア・服を大事にすることというこ 。研修に向けて自信を持たせる。	1・ 通年	100		○			○		○	○
○			衣装デザイン	オリジナルのデザインの衣服を製作する。 生地を選びカスタマイズ、サイズアレンジなどの デザイン技術を習得する。	2・ 通年	190				○	○			○
○			商品・ライフスタイル研究	インテリアを含む生活様式を研究する	2・ 通年	95		○			○		○	○
○			スタイリスト実習Ⅱ	洋服に対しての知識、スタイリストアシスタントとしての 即実践に繋がるスキル	2・ 通年	155		○			○		○	○
○			デザインクリエイション	課題やコンテスト出展を通してオーダーを理解し、クライアントからの 要望を的確に捉えるデザインスキルを身につける。	2・ 通年	100				○	○		○	○
○			ショップ起業実習	0からの企画／生産／実店舗運営演習＆実習	2・ 通年	77.5				○	○	○	○	○
○			ファッションビジネス概論	ファッションビジネス能力検定3級取得に向けて、ファッションビジネス 知識全般を学ぶ。	2・ 通年	77.5		○			○		○	○
○			ポートフォリオ製作	スタイリスト独立までに必要な作品撮り製作を学ぶ。 作品撮り製作を通して、感性や表現力の向上、世界観の追求を測る。	2・ 後期Ⅱ	27.5				○	○		○	○
○			スタイリング実習	ファッション業界人として必要な代表的スタイルに関する 知識を深める。それを現代的なスタイリングに落とし込む 実践を通して、創意工夫の能力を育てる。	2・ 通年	100				○	○		○	○
○			研修／キャリアデザイン	就職に向けたスタイリスト、企業研究	2・ 前後期Ⅰ	67.5			○		○		○	○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	卒業制作ファッションショーに向けた準備・企画立案・実行	2・ 後期	120				○	○		○	○
○			ファッションジャーナリズム	クリエイティブの原点となる様々な実習を行い、「創る」ことの楽しさ を体感し、次年度に行う実際の雑誌制作に向けてのクリエイティブ性を 学ぶ	1・ 後期Ⅱ	27.5				○	○		○	○
○			前期ショー企画	卒業制作ファッションショーに向けて、様々な舞台演出やステージ、 ファッションショーの制作、演出を学ぶ。 東京を代表するコレクションブランドのルックブックやコレクションの インビテーションなど印刷物の知見を深める。	2・ 前期	35			○		○			
○			スタイリスト実務研修	現場での実務研修	2・ 前期	35				○	○	○		○
合計					29科目			1850単位時間(単位)						
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価がC(6)以上であること。								1学年の学期区分		3期				
								1学期の授業期間		平均13週				

【モデル科】																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実 務 経 験 の あ る 教 員 に よ る 授 業	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		企 業 等 と の 連 携
○			プロポーション美学	モデルに仕事を理解し自ら必要な日々の取り組みを知る。 モデルとして様々なイメージを理解し表現することができる。撮 影を通じポートフォリオを作成する。	1・ 前 後 期 Ⅰ	52.5			○		○			○		○
○			ビジネスPCワーク	社会で通用するPCスキルを身に着けることを目的として、 Windowsパソコンの操作やOfficeソフトの使い方を習得する	1・ 前 期	35			○		○			○		○
○			英会話	日常英会話	1・ 後 期 Ⅱ	25		○			○			○		○
○			演技実習	はっきりと聞き取れる発音（発声・滑舌）と、 感情豊かに演技できる基礎力をつくる 自己を客観視し、セルフプロデュースできる力を身に付ける	1・ 通 年	77.5					○	○			○	○
○			ウォーキング& ポージング	正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付けて、 一生の財産となる「美」に関するノウハウを習得する。	1・ 通 年	195					○	○			○	○
○			フォトセッション	正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付けて、 一生の財産となる「美」に関するノウハウを習得する。	1・ 通 年	100					○	○	○		○	○
○			ダンスレッスン	ダンスの基礎から応用まで、幅広く習う事によって、 身体で表現する事の喜びや、基礎身体能力をのばす。	1・ 通 年	95					○	○			○	○
○			栄養学	栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の 食生活で実践できるようにする。また、モデル としての体型形成および維持と健康管理に習得 した知識を活用できるようにする。	1・ 通 年	95		○		○	○	○		○		○
○			オーディション対策	オーディションへのエントリー、ならびに準備と対策	1・ 後 期	60		○	○		○	○	○			○
○			映像表現	授業で行う映像制作の工程を全て、モデルとしての 成長と関連付けられるように目指す。	1・ 通 年	95					○	○	○		○	○
○			グラフィック実習	現場での様々なシチュエーションに対応出来る 基礎知識の習得	1・ 前 後 期 Ⅱ	62.5					○	○	○	○		○
○			ヘアメイク	ヘアメイクによる印象の変化、みせ方を学ぶ 自分自身でみせたい印象となるヘアスタイリングと メイクアップテクニックを学ぶ	1・ 後 期 Ⅰ	32.5					○	○			○	○
合計			12科目			925単位時間(単位)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
各科目の出席単位時間が75%以上であること、各科目の総合評価がC（6）以上であること。								1学年の学期区分 3期								
								1学期の授業期間 平均13週								

【ファッションビジネス科】														
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法		場所		教員		実務経験のある教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩学	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	37.5		○		○		○		○
○			ヘアメイク	ヘアメイクアレンジ技術習得 ヘアスタイリングの基礎・基本を学ぶ。	1・後期Ⅰ	32.5			○	○		○		○
○			メイクアップ	フルメイクの為の基礎テクニックの習得。 ショー等のステージメイク応用テクニック 将来の職種精通した知識、技術を養う。 就職活動、自身の身嗜みとして役立てる。	1・後期Ⅰ	22.5		○		○		○		○
○			ビジネスPCワーク	社会で通用するPCスキルを身に着けることを目的として、 Windowsパソコンの操作やOfficeソフトの使い方を習得する	1・通年	95		○		○		○		○
○			英会話	グローバルコミュニケーション ネイティブ講師による、日常ビジネス英会話	1・後期Ⅱ	25		○		○		○		○
○			カメラ撮影実習	写真撮影についての基礎知識の習得。 PR方法として有効な写真撮影についての基礎知識と 人物、物撮り基本撮影技法の習得 自己表現力の強化	1・後期Ⅱ	25		○		○	△	○		○
○			服飾史	古代ギリシャから、中世ヨーロッパ 20世紀ファッションまで	1・前期	35		○		○		○		○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を 理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、取り扱いケア	1・後期	60				○		○		○
○			服飾技術実習	基本的なお直しや服の構造などについて、 実際にミシンなどを使い製作物を通して学びます。	1・通年	77.5			○	○		○		
○			ファッションビジネス概論	アパレルにおける商品の知識取得とビジネス検定対策 (商品アイテム名称、部分名称、使用名称)	1・通年	100		○		○		○		○
○			ファッションジャーナリズムⅠ	クリエイティブの楽しさを学ぶ	1・前期	35				○	○		○	○
○			SNSマーケティング	アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング 方法、各SNSの特徴を理解する。	1・前期	30		○					○	○
○			グラフィック演習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショッップの初～中級操作と 実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成	1・通年	95			○		○		○	
○			トレンド分析・ パーソナルコーディネート	アイテム名、ディテール名を網羅する。 トータルコーディネートテクニックを身に付ける。	1・通年	100				○	○		○	
○			就職ガイダンス	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的 な流れ・知識を身に付ける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。	1・後期	60		○			○		○	
○			ショップ起業実習	ショッププロデュースに関してコンセプトワークから ターゲット設定、そして商品企画制作仕入れを経験し、 実店舗運営までの一連の流れを学生達に経験させる	1・通年	95				○	○	△	○	
○			産学連携実習	プロモーション計画（WEBその他）を立案し、企画書に 取りまとめて企業様へ提出。 企業担当者様に選考して頂き、選抜作品をプレゼン テーションさせて頂き、ご評価頂く。	2・通年	190				○	○	△	○	
○			販売実務演習	接客応対マナー、販売・経営管理、VMD技術の習得 ロールプレイング実習	2・前期	37.5		○	○		○		○	
○			マーケティング	販促プランの立案などを実際の例を元に知見を高め、 プロジェクトを企画します。	2・通年	100		○		○			○	
○			SNS/Webマーケティング	広告、SNS、SEOなどのWEBマーケティングの種類と各特色 を理解し、効果的な運用を行える力を身に付ける。 各素材を作成するために必要な撮影、PCスキルの向上を目指す。	2・通年	95		○		○	○		○	○
○			MD論	マーチャンダイザーの業務内容・役割・KPI達成など基礎知識から実 際の店舗での環境観察（プライス・VMD・購入客等）を通した実務を 想定する	2・通年	77.5		○			○			
○			ファッションジャーナリズムⅡ	ファッション雑誌についての造詣を深める講義を行うとともに、実 際に学生たちが自分の手によって、雑誌のページ制作を行う。	2・通年	77.5				○	○		○	○
○			プレス実習	ファッション業界に置けるプレス・PRの職種知識取得と資料作成及 び実践 他の職種にも通用するためのトレンドキャッチ・コミュニケーション 能力と効果的なプレゼンテーションツール作成。店頭を始めとする VP知識と技術取得	2・後期	62.5		○	○		○		○	
○			バイヤー演習	バイヤーの位置付けや仕組みを理解し、実績方法を学ぶ	2・通年	95			○			○		○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	35				○		○		○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	2年間学んだ事を活かし卒業制作ファッション・ショーの 演出企画、運営を遂行しつつ各タリダーシップ、チーム ワーク、コミュニケーション、企画立案、リスク マネジメント、予算管理能力などを修得する。	2・後期	120				○	○		○	
○			前期ショー企画	前期終了ショーの企画運営	2・前期	35		○		○	○		○	
○			スタイリング・ささげ実習	ささげ（撮影・採寸・原稿）に関して必要な基礎知識、また、発 想力、提案力、文章能力などの向上を目指す	2・通年	100				○	○		○	
○			グラフィックデザイン	ECサイト関連に関するデザイン構築のノウハウや、デザインの考 え方、第三者に対してコンセプトやブランドイメージを共有する プレゼン方法を模索する。wixなどの無料サイトを使って、ECサイトの仮 組みを制作する	2・通年	100				○	○		○	
合計				29科目	1850単位時間（単位）									
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価がC（6）以上であること。								1学年の学期区分		3期				
								1学期の授業期間		平均13週				

【アパレル技能科衣装製作コース】																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実務経験のある教員による授業	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			スタイル画	デッサンを通して表現力、想像力の育成から実務に則したスタイル画を基本とした描画表現力を身につける。	1・前期	37.5				○	○			○	○	
○			色彩学	AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメージに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー（人それぞれに似合う色）概論を学ぶ。	1・前期	37.5		○			○			○	○	
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、取り扱いケア	1・後期	60		○			○		○		○	
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ・立体化して着用する服となっていく工程の理解と縫製仕様の習得	1・通年	437.5				○	○		○		○	
○			SNSマーケティング	SNSで会社やフリーランスでの仕事で必要な活用方法を学ぶ。 アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、各SNSの特徴を理解する。	1・後期Ⅱ	25		○			○			○	○	
○			ドレーピング	平面製図でおこなっていたものを、立体ボディーを使用し、実際の布（シーチング）をあてダーツをとる事によって、実際のフォルムに合わせていきパターンの仕組みを理解する。	1・通年	77.5				○	○		○		○	
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。 素材から形まで	1・前期	35		○			○		○		○	
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、対応策についてガイダンス	1・後期	57.5		○	○		○		○			
○			ベーシックデザイン	想像力、造形的バランス感覚を身につけ自身のクリエーションについて、プレゼンテーション力を養う。	1・後期	62.5				○	○			○	○	
○			グラフィック実習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成 各ソフトウェアの運動操作取得	1・通年	95					○	○		○	○	
○			テクニカル工芸	立体スモッキング・つまみ細工・革花・装花 コルセット／帽子／編み物 装飾テクニック習得	2・通年	77.5					○	○		○	○	
○			産学連携実習	服飾の企画・製造・販売を行なっている企業との連携。	2・通年	77.5		○			○	○	○	○	○	
○			卒業制作実習	卒業制作ファッションショー衣装制作 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む	2・後期Ⅱ	85					○	○		○	○	
○			服飾製図	アイテム製図、制作構成 素材の適応性を学ぶ また、軽衣料 中衣料、重衣料の製図を順番に学ぶ事で理解を深め、応用力を付ける	2・通年	250					○	○		○	○	
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	37.5		○			○		○		○	
○			卒業制作ファッションショー制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリー企画。グルーブワーク。	2・前期	35					○	○		○	○	
○			衣装製作実習	衣装製作者、衣装デザイナーとしてのスキルを磨く 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む	2・前期後期	210					○	○		○	○	
○			アパレルデザイン実習	アパレルデザインの目的を理解し、コンセプトやアイデア発想能力を養う。自己の考えについてのプレゼンテーション能力、アピール能力を養う。マーケットリサーチを通して商品と作品の違いを学ぶ	2・通年	95					○	○		○	○	
○			ビジネスPCワーク	社会で通用するPCスキルを身につけることを目的として、Windowsパソコンの操作やOfficeソフトの使い方を習得する	2・後期	57.5			○		○		○		○	
合計					19科目		1,850単位時間（単位）									
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価がC（6）以上であること。								1学年の学期区分				3期				
								1学期の授業期間				平均13週				

【専攻科】																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実 務 経 験 の あ る 教 員 に よ る 授 業	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		企 業 等 と の 連 携
	○		デザインワークⅡ	広義的なファッションを学び、デザイン性の 根源を模索する。イメージを言語やビジュアル で具現化し、デザイン力を高める。	通 年	95				○	○		○			○
	○		高度造形実習A	デザインの完成度及び表現力の向上 シルエット、全体のバランスを考える 異素材の研究	通 年	95				○	○		○			○
	○		高度造形実習B	様々な形態の造形を実習体験する	通 年	290				○	○		○			○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	ファッションショーのテーマ及びカテゴリー名を 考える。衣装デザインを準備する。	前 期	35				○	○		○			○
○			パターン製図	より高度な製図・立体技法を用いて、 複雑かつ美しいフォルムの研究を行う。 多種類素材の扱い、技法の研究を行う。	通 年	77.5				○	○			○		○
○			制作実習	研究活動制作	通 年	462.5				○	○		○			○
	○		ファッションビジネス概論	ファッション業界の市場・職種・販売戦略等を総合的 に理解・学習すること	通 年	100		○			○		○			○
○			服飾技術実習	卒業製作ファッションショー衣装製作 デザイン画に忠実な再現 素材やデテールの研究	後 期	60				○	○		○			
合計			8科目			925単位時間(単位)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
各科目の出席単位時間が75%以上であること、および各科目の総合評価がC（6）以上であること。								1学年の学期区分				3期				
								1学期の授業期間				平均13週				